

第3回松島町子ども・子育て会議録（要約版）

日 時 平成26年3月26日（水） 10時～

場 所 松島町役場（3階302会議室）

出席者

委員：遠山勝雄会長、瀬野尾千恵委員、佐々木勝義委員、土井いく子委員、袖井智子委員、平井素子委員、浅沼千暁委員、岡田康子委員、千葉圭子委員、三品ひとみ委員

事務局：阿部町民福祉課長、鴈平福祉班長、田瀬主査、大泉保育士、(株)ぎょうせい
教育委員会、健康長寿課

次 第

1, 開 会

2, 会長挨拶

3, 議 題

(1)「子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート」結果の報告について

4, 意見交換

5, 閉 会

【質疑、意見交換】

－事務局説明－ 児童館について

会長：今の説明だどこまで計画が進んだので計画を変えたくないと行政側で言いたいのだろうが、めげずに御意見をいただきたい。

委員：児童館の目的として保護者層の交流もある。アンケート結果にもそれが反映されている。この児童館には交流の場がない。そこで事務室スペースを必要だとは思いますが、集会室あたりに配置し、事務室にはテーブルを置きホールにして交流の場としてはいかがか。又、図書コーナーの目的はわかるが、遊戯室や児童クラブ室の窓の下や廊下にはほんの収納を確保し、自由に本とふれあえる環境としてはどうか。図書コーナーの一部を事務スペースとしてはいかがか。

委員：屋外の図面が提示されていないので外で遊ぶスペースが確保されているのかわからない。以前に自分の子を学童保育に入れていたときには外で遊ぶことが全くなかった。中庭など整備されているか聞きたい。外で遊具や芝生で遊べるのか。

事務局：図面は出していないが園庭は確保し整備予定である。遊具も寄付を受けるよう話を進めている。

会長：計画図になれば寄付の話も進まないのではないか。計画にのせるべきだ。

委員：子育て支援センターも移動すると聞いたが運用は変わるのか。現在弁当を食べるスペースがあり母親が交流しているがその場所を確保するのか。

事務局：基本的には午前中と考えている。集会室はオープンスペースになる。

会長：初めから交流場所を想定すべきではないのか。

委員：利用は午前中と限定すべきでない。

委員：児童館として遊具も考えなくてはならない。

事務局：遊具は現在の子育て支援センターのものを利用する予定であり、予算も確保はしている。

委員：娘の嫁いだ四国の町には、児童館が7つあり子育てで非常に助けられている。幼稚園児も午後に親無しで5時まで預かってくれる。学童も登録すれば6時まで、一般来館小学生も5時まで遊べる。ホールもドッチボールができる程広い。

事務局：松島町の児童館も高校生まで自由に使える施設であるが、是非参考にしたい。

会長：幼保一元化にも反映していくべきだ。

委員：児童館に留守家庭学級も入るといえるがどうか。教育委員会に確認したところ当面併設と言っていたが確認したい。

事務局：留守家庭学級については、現在の運用を考えている。長期休暇のみ1箇所となる。

教育委員会：土曜日でも1箇所である。それぞれ現行運用である。

委員：県産材を使用とのことで、どこに使うか聞きたい。そもそも環境としてこの場所に建設でよいのか疑問である。外で遊ぶ配慮をして欲しい。庭に小山や木製遊具を配備するなど工夫して欲しい。情操教育をして欲しい。

事務局：できるだけ県産材を使用したい。瑞巖寺の杉も一部に使いたい。情操教育ももちろん進めていく。

委員：運営面ではこの会議でも積極的に話して行きたい。更衣室は必要なのか。使用しないのであれば子ども達のロッカーをおいてはどうか。事務室を減らしてもロッカー設置してはどうか。

会長：図書コーナーは必要だが線路のそばでよいのか。防音対策はしないのか。事務室はそもそもどのように使うのか。職員は事務室にこもるのではなく子どものそばにいるのではないか。事務室にいてはいけない。外デッキも階段の安全性を確保すべく配慮してはどうか。倉庫が多いのではないか。

事務局：倉庫については、他の児童館を視察した際に不足気味だった。必要である。

会長：外付け倉庫でも良いのではないか。

健康長寿課：保健福祉センターも倉庫が少ない状況である。外倉庫では雨天時に濡れてしまうし安全面でも心配である。中の倉庫が良いと思う。

－事務局説明－ アンケート結果について

医療費や公園について意見多し

委員：H22・3の次世代育成計画のアンケート結果とほとんど一緒であった。ほとんど施策が進んでいない。幼稚園と保育所の一時預かりは昔も要望があった。今回は保育内容についての要望が出できたと思う。

事務局：保護者からは教育が望まれている。幼稚園の三年保育も要望が多かった。

委員：幼稚園保育所のアンケートで書けないことを記載してきたと思う。

委員：幼稚園の三年保育について、松島町は公立のみなので保育所と連携しているとして二年と説明していた。その前は一年であった。

委員：今は小学校児童数も減っている。子ども達の遊ぶ場所の確保の意味でも三年保育が望ましいのではないかと感じる。

委員：公園などの遊び場について、五小は里山で遊ぶこともできる。公園で遊ぶ子どもは見かけない。子どもの集まる場所がない。現在ある公園も利用しきれていない。

事務局：公園数は20程度あるがなかなか利用されない。遊具も古い。

委員：五小は自然が多いが、反面、危険な場所も多い。町民の森も未整備である。町には子育てについての思想がない。アンケート調査結果は大変貴重なので今後の施策に是非活かして欲しい。町はスピード感をもって対応して欲しい。

委員：回答の結果として満足していないという意見かと思う。但し、貴重な意見であり、こう替えて欲しいという要望も多い。集計結果をカテゴリー化して要望の優先順位をつけ、行政として実行可能な評価をしてはどうか。

委員：H22次世代計画の時もアンケートをとりっぱなしではないのかと思う。町民に対して結果のフィードバックをすべきだ。行政としてやれる部分やれない部分を表明すべきではないか。

事務局：最終的には計画策定時に反映する。今後アンケート内容を詰めていく。

会長：結果は整理していくこと。町執行部や議会にも答申していく。

委員：一時預かりについて、突発的な利用への対応はどうなのか。

委員：磯崎保育所で実施している。登録した上での利用となる。1日の利用定員は6名である突発的な利用には対応できないが、緊急的対応が必要な方には、要綱改正を行ったので対応できる。

委員：土日の利用はどうなのか。

事務局：土日はできない。利用料は4時間1,000円、1日だと2,000円、おやつ昼食はそれぞれ300円である。

委員：幼稚園でも一時預かりを実施している。リフレッシュではだめである。

委員：幼稚園での一時預かり実施日数が少ない。不定期である。

委員：預かり専門の職員がいない。職員の都合で実施できなくなってしまう。

委員：制度として一時預かりといえないのではないかと。「やっています」という実績作りではないか。

委員：私立幼稚園などは体制整備されているので対応できている。

会長：アンケートでは延長の希望も多いが、もっと延ばすということなのか。

事務局：高城保育所で19:00まで特別延長しているが、以降もという希望だ。

委員：仙台通勤の人は19:00だと帰ってこられないのではないかと。

会長：松島は仙台の通勤圏なので要望として多い。

委員：民間だが利府は20:00もあるようだ。但し、子どもにとってはどうなのか。延ばせば同じように親の迎えも遅くなる。子どもの負担になると思う。

委員：会社では子どもがいれば早く帰る制度もある。職場間の格差があるようだ。法的には誰でも取得できる制度である。

委員：しつけの仕方とあったがどういうことか。

事務局：記載者が第三者を見てのことではないか。

会長：親が記載する親の意見のアンケートである。子どもから見たのととらえ方が違う。例えば、いじめ問題でも件数報告ではなく対策を報告する方が大事ではないか。

委員：今は子どもが室内に居ることが非常に多いのでしつけがわからないのではないか。

委員：通学路防犯灯等街灯について、松島町は非常に暗い。道もでこぼこだ。

健康長寿課：乳幼児検診で感じたことがある。生活リズムが不規則で1歳児なので22時くらいになる。父親を待っているので遅くなっても仕方ないと言っている。

事務局：自分が子育て支援センターに子どもを遊ばせに行っていたときは午前中で帰って午後には昼寝させていた。児童館でも話が出たが、午後でも子育て支援センターに居るとしたら、昼寝をさせないか遅くなってしまい、それが生活リズムの乱れにもつながるのではないか。

事務局：子ども達も午後になれば疲れる。昼寝は子どもにとって必要である。

委員：日中は母親同士の交流も大事だと思う。親の自覚かと思う。

委員：検診の時間が遅めになってきていると感じるが。

健康長寿課：11時半には終了するようにしている。

委員：第五幼稚園について説明して欲しい。五小学区はなかなか児童館にいけませんが、新五幼の開放などは検討しているのか。

教育委員会：開放をどうするかは話していない。図面を用意したので提示する。

事務局：次回は4月下旬か5月上旬の開催を予定する。計画作りが本格化するので忙しくなるが宜しく御願いたい。施設か公園の視察も実施したい。